

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)協和町西A建替住宅建設工事 2棟	階数	地上9F
建設地	大阪府堺市堺区協和町1丁40番	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	193 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 予定	評価の実施日	2013年7月8日
敷地面積	7,159 m ²	作成者	春増
建築面積	810 m ²	確認日	2013年7月10日
延床面積	5,588 m ²	確認者	徳岡昌克



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 70%
 ③上記+②以外の 69%
 ④上記+ 69%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	遺跡(古墳)をできるだけ、保存できるよう配慮した配置計画としている。 また、建物の長寿命化や更新性、メンテナンス性に配慮した計画としている。	その他 外灯は、虫を寄せ付けにくく、省電力、長寿命のLEDを採用している。
Q1 室内環境	シックハウス対策として内装材は規制対象外又はF☆☆☆☆としている。	Q3 室外環境(敷地内) 遺跡(古墳)をできるだけ、保存できる住棟配置計画としている。 緑地をできるだけ多くとる計画としている。
LR1 エネルギー	太陽光発電設備15kwを採用し、使用電力量を低減している。 専有部分には、潜熱回収型給湯器を採用している。	LR3 敷地外環境 ゴミの分別収集に対応したゴミ置場を屋外に設置。 自転車置場を車の動線と分離した使い易い位置に設置。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)協和町西A建替住宅建設工事 2棟	BEE	BEEランク A
	建設地	堺市堺区協和町1丁40番	1.8	
	主用途/延床面積	集合住宅 / 5,588.25 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.2	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	4
		住居・宿泊部分	5.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.3	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電設備15kw	

特に配慮した事項

立配管等のPSを住戸内に設けず、共用廊下、バルコニーに設置することでメンテナンス性、更新性を向上させている。